令和6年度

検査結果の概要

令和7年7月

栃木県 県土整備部 技術管理課 検査班

目　　次

Ⅰ　令和６年度検査結果概要について　・・・・・・・・・・・　Ｐ 1

Ⅱ　工事及び業務委託の検査区分　・・・・・・・・・・・　Ｐ 3

Ⅲ　県　土　整　備　部
　１．検査結果について　・・・・・・・・・・・　Ｐ 4
　２．土木関係資料　・・・・・・・・・・・　Ｐ 8
　３．建築関係資料　・・・・・・・・・・・　Ｐ10
　４．成績評定結果資料　・・・・・・・・・・・　Ｐ11

Ⅳ　環　境　森　林　部
　１．検査結果について　・・・・・・・・・・・　Ｐ15
　２．成績評定結果資料　・・・・・・・・・・・　Ｐ17

Ⅴ　農　政　部
　１．検査結果について　・・・・・・・・・・・　Ｐ19
　２．成績評定結果資料　・・・・・・・・・・・　Ｐ21

Ⅵ　ま　と　め　・・・・・・・・・・・　Ｐ23

※　平成 26 年 4 月 1 日から、技術管理課検査班に環境森林部及び農政部の検査業務が集約されたたことから、県土整備部、環境森林部、農政部の3部の検査概要を作成している。

Ⅰ　令和6年度検査結果概要について

●工事の契約件数は、県土整備部の土木工事は令和 6 年度 1,253 件で、令和 5 年度 1,298 件と比べると 3.5 %減少し、建築工事については令和 6 年度 50 件で、令和 5 年度 70 件と比べると28.6%減少した。環境森林部は令和6年度104件で、令和5年度104件と同数であった。農政部は令和 6 年度 84 件で、令和 5 年度 82 件と比べると 2.4%増加した。

●工事の完成検査総件数は、県土整備部の土木が令和6年度1,226件で、令和5年度1,448件と比べると 15.3%減少し、建築は令和6年度 68 件で、令和 5 年度 82 件と比べると 17.1%減少した。環境森林部は令和6年度 103 件で、令和5年度 102 件と比べると 1.0%増加し、農政部は令和 6 年度 72 件で、令和 5 年度 99 件と比べると 27.3%減少した。

●業務委託の完了検査総件数は、県土整備部の土木業務委託が 1,356 件で、内 500 万円以上の件数は 858 件、その内維持管理業務委託等を除き評価の必要な 488 件の評定を行い、建築の委託総件数は 89 件で、内 100 万円以上の件数は 88 件、その内工事監理委託等を除き評価の必要な 44 件の評定を行った。環境森林部の委託総件数は 138 件で、内 500 万円以上の件数 24 件の評定を行い、農政部の完了検査総件数は 127 件で、内 500 万円以上の件数 54 件の評定を行った。

●中間検査実施状況は、県土整備部の土木工事が令和6年度完成検査総数 1,226 件に対し中間検査を実施すべき 5 千万円以上の工事件数 286 件の内 173 件と 5 千万円以下の 14 件を実施し、建築工事では、88 件の中間検査を実施した。環境森林部では 5 千万円以上の工事件数 11 件と、5 千万円以下の3件で実施し、農政部では完成検査 72 件に対し 48 件を実施した。

工事契約件数

（単位：件）

部局	種別	R6年度	R5年度	増減(%)	備考
県土整備部	土木工事	1,253	1,298	3.5 ↓	
	建築工事	50	70	28.6 ↓	
環境森林部		104	104	0.0 →	
農政部		84	82	2.4 ↑	

工事完成検査総件数

（単位：件）

部局	種別	R6年度	R5年度	増減(%)	備考
県土整備部	土木工事	1,226	1,448	15.3 ↓	
	建築工事	68	82	17.1 ↓	
環境森林部		103	102	1.0 ↑	
農政部		72	99	27.3 ↓	

業務委託完了検査総件数

（単位：件）

部局	種別	R6年度	R5年度	増減(%)	備考
県土整備部	土木工事	1,356	1,530	11.4 ↓	
	建築工事	89	87	2.3 ↑	
環境森林部		138	127	8.7 ↑	
農政部		127	143	11.2 ↓	

注1.） 対象額：500万円以上（県土土木、環境森林部、農政部）、100万円以上（県土建築）

注2.） 検査対象外：維持管理業務委託等（県土土木）、工事監理委託等（県土建築）

中間検査件数

（単位：件）

部局	種別	R6年度	R5年度	増減(%)	備考
県土整備部	土木工事	187	198	5.6 ↓	
	建築工事	88	74	18.9 ↑	
環境森林部		14	23	39.1 ↓	
農政部		48	52	7.7 ↓	

成績評定結果（令和6年度）

県土整備部　工事（土木）　平均点80.5点　（　対R5比　0.2ポイント　↑　）
県土整備部　委託（土木）　平均点79.3点　（　対R5比　0.2ポイント　↑　）
県土整備部　工事（建築）　平均点79.0点　（　対R5比　1.0ポイント　↑　）
県土整備部　委託（建築）　平均点76.7点　（　対R5比　0.2ポイント　↓　）
環境森林部　工事　平均点79.9点　（　対R5比　0.3ポイント　↑　）
環境森林部　委託　平均点78.1点　（　対R5比　0.3ポイント　↑　）
農政部　工事　平均点80.2点　（　対R5比　0.6ポイント　↑　）
農政部　委託　平均点77.6点　（　対R5比　0.1ポイント　↑　）

Ⅱ　工事及び業務委託の検査区分

県土整備部　　（平成 25 年 4 月 1 日から適用）

検査担当課所 検査員 発注課所	技術管理課 検査監等	土木事務所 部長、課長等	特設事務所 所長補佐等
土木事務所発注の 土木工事 及び 土木業務委託	100万円以上 ［評価対象 ＝500万円以上］	100万円未満 積算業務委託	
特設事務所発注の 土木工事 及び 土木業務委託	100万円以上 ［評価対象 ＝500万円以上］		100万円未満 積算業務委託
本庁発注の 土木工事 及び 土木業務委託	全部の工事及び 業務委託 ［評価対象 ＝500万円以上］		
本庁発注の 建築･電気･機械工事	全部の工事 ［評価対象 ＝500万円以上］		
本庁発注の 建築･電気･機械 業務委託	全部の業務委託 ［評価対象 ＝100万円以上］		
特設事務所発注の 建築･電気･機械 工事	100万円以上 ［評価対象 ＝500万円以上］		100万円未満
特設事務所発注の 建築･電気･機械 業務委託	100万円以上 ［評価対象 ＝100 万円以上］		100万円未満

環境森林部　　（平成 31 年 4 月 1 日から適用）

検査担当課所 検査員 発注課所	技術管理課 検査監等	環境森林事務所 部長補佐、課長等
環境森林事務所発注の 工事	100万円以上 ［評価対象 ＝500万円以上］	100万円未満 ［評価対象 ＝500万円以上］
本庁発注の工事	全部の工事 ［評価対象 ＝500万円以上］	
環境森林事務所発注の 業務委託	100万円以上 ［評価対象 ＝500万円以上］	100万円未満
本庁発注の業務委託	全部の業務委託 ［評価対象 ＝500万円以上］	

農政部　　（平成 31 年 4 月 1 日から適用）

検査担当課所 検査員 発注課所	技術管理課 検査監等	農業振興事務所 等 部長補佐、副主幹等
出先機関発注の工事	100(1,000)万円以上 ［評価対象 ＝500万円以上］	100(1,000)万円未満 ［評価対象 ＝500万円以上］
本庁発注の工事	全部の工事 ［評価対象 ＝500万円以上］	
出先機関発注の 業務委託	100万円以上(全て) ［評価対象 ＝500万円以上］	100万円未満（ － ）
本庁発注の業務委託	全部の業務委託 ［評価対象 ＝500万円以上］	

※（ ）は農業振興事務所以外の農政部の公所

※（ ）は農業振興事務所以外の農政部の公所

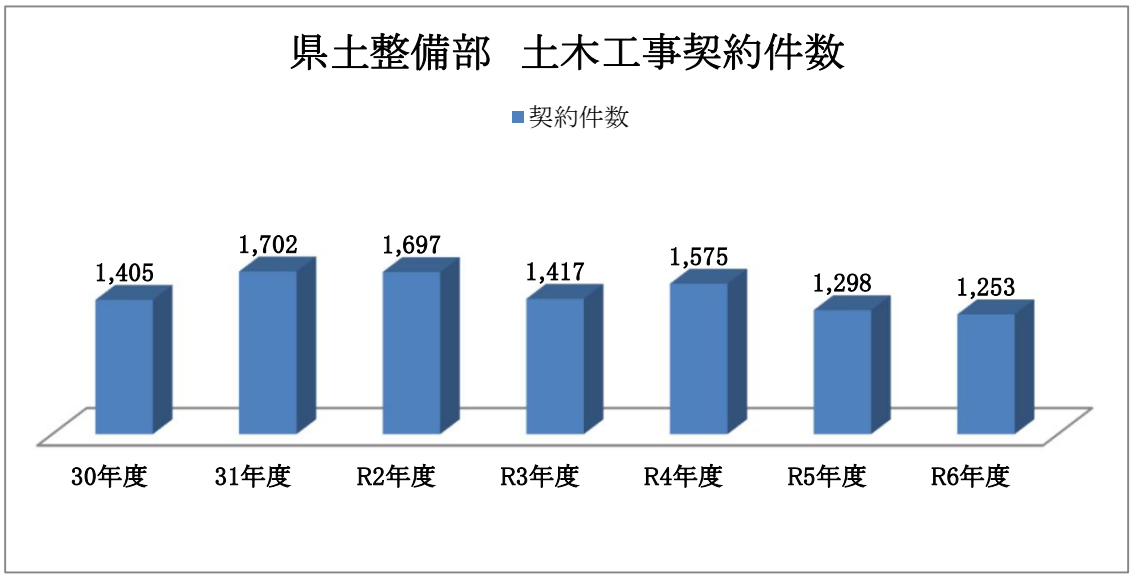
Ⅲ　県土整備部

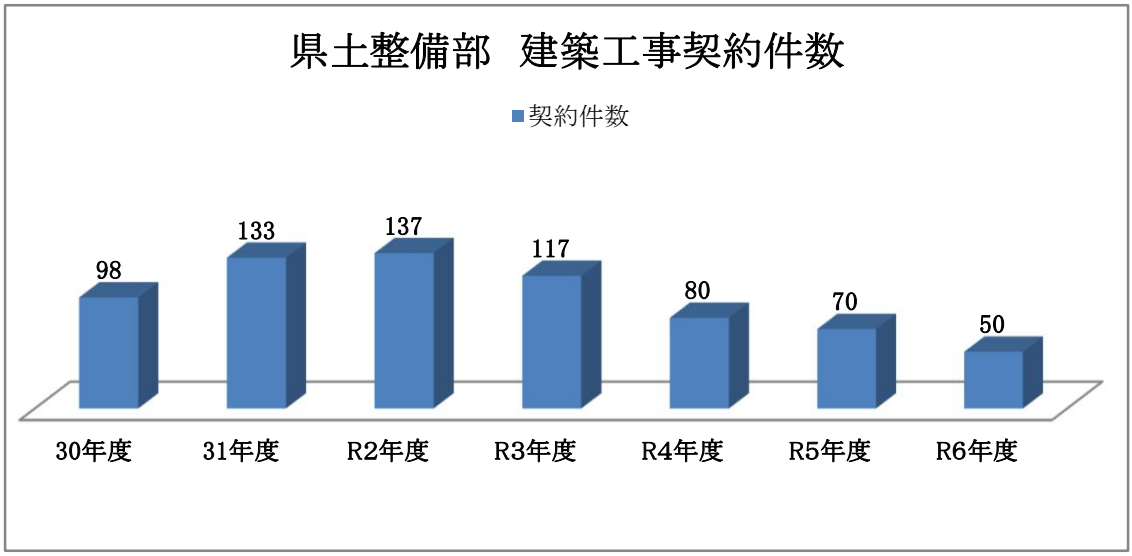
1.　検査結果について

(1)工事契約件数について

令和6年度の土木工事の契約総数は1,253件であり、令和5年度と比べると3.5%減少した。

建築工事については、令和6年度は50件であり、令和5年度と比べると28.6%減少した。



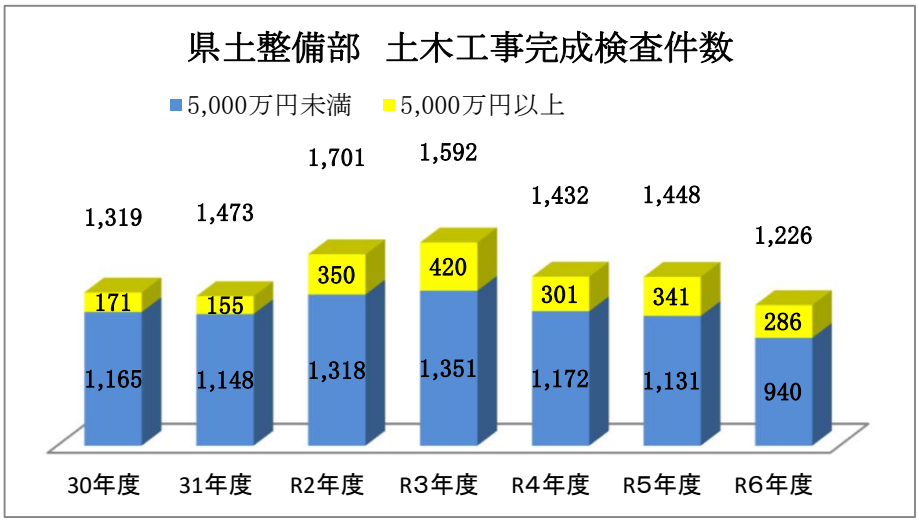


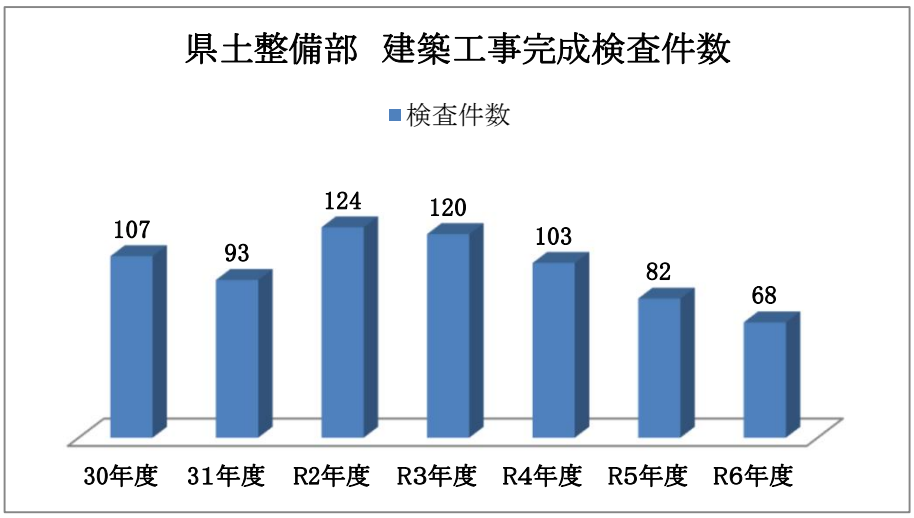
(2) 工事完成検査について

①完成検査件数の推移

令和6年度の土木工事の完成検査総件数は1,226件となっており、令和5年度と比較すると222件減少している。

建築工事については、令和6年度の完成検査件数は68件で令和5年度と比較すると14件減少している。





②完成検査状況

全般的には工事の管理資料、施工管理状況は一定のレベルに達してきているが、一部の工事において、施工計画書や品質、出来形管理等の書類への資料追加・訂正などの指導を行った箇所があった。

今後は、ICT活用工事による3次元データの施工管理、情報共有システムの実施による電子データの工事帳票等に対する検査の実施数が多くなるため、電子帳票と写真データでの施工管理や出来形及び品質の確認に当たり、検査環境や体制の確保が必要となっている。

③結　果

会計年度の関係で、完成検査が年度末に集中する傾向が強く、一部検査担当職員以外の職員に検査下命している場合がある。　債務負担行為や繰越処理などの方法による必要工期の確保はもとより、品質の確保、不良工事の防止、年度末に工事が集中することによる工事現場での事故防止等について、発注者としてより一層の対応が必要である。

(3) 中間検査について

①中間検査の推移

令和6年度の土木工事の中間検査の実施状況は、中間検査を実施すべき契約金額5千万円以上の工事件数286件の内173件（実施率＝約60.5%）と、5千万以下の工事で14件の合計187件の中間検査を実施した。

建築工事の中間検査件数は88件であり、概ねすべての工事に対して実施している。

②課　題

中間検査の実施率について、建築工事においては高い実施率を示している。土木工事に関しても従前4割程度であったが、令和6年度には6割を超えた。

中間検査の実施については、公共工事の品質確保に加え、若手技術者の育成の観点からも、今後とも積極的に実施していくことが重要である。

(4) 業務委託検査について

①完了検査の推移

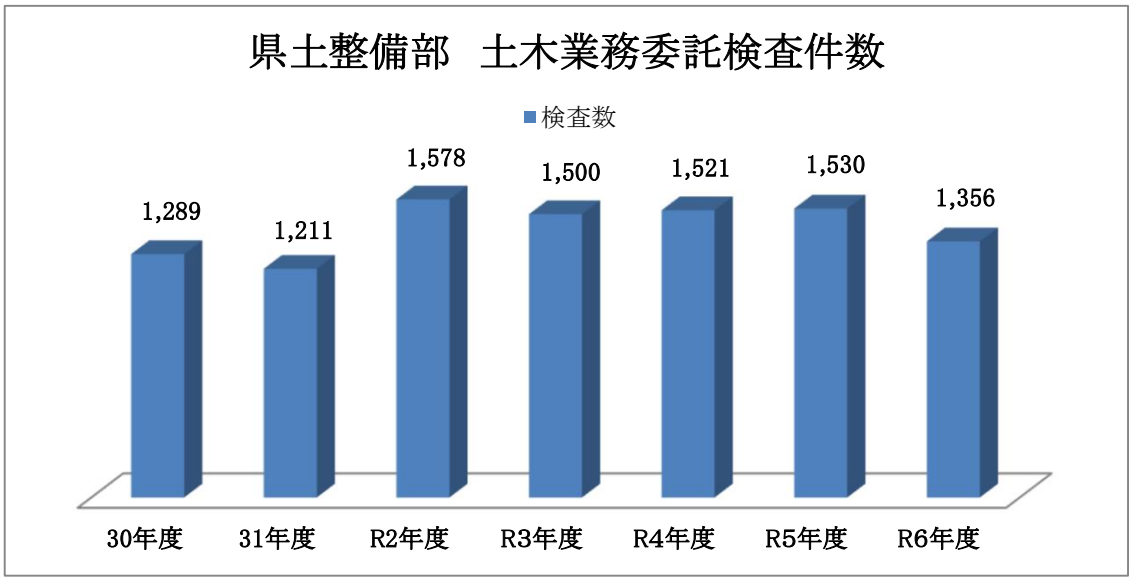
令和6年度の土木の業務委託の検査件数は1,356件であり、うち維持管理業務委託等を除いた488件について評定を行った。

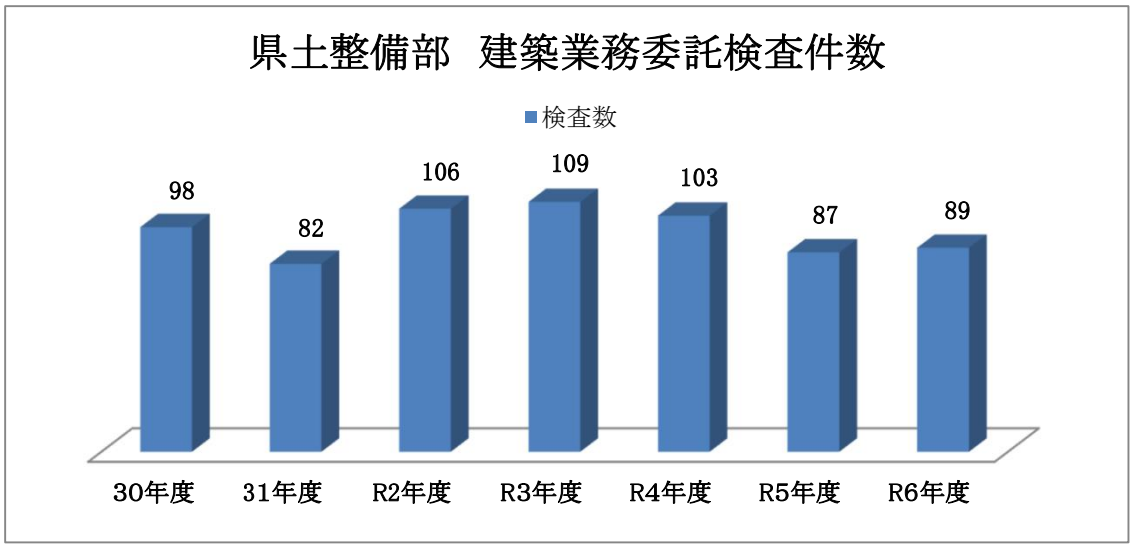
令和6年度の建築の業務委託の検査件数は89件であり、うち工事監理委託及び定期点検業務委託を除いた44件について評定を行った。

②課題

業務委託の検査については、成果品の確認に重点をおいた検査内容であるが、特に設計業務委託については技術調整会議等を利用した設計内容のチェック体制の確立が必要である。

（道路等維持管理業務委託、電気・機械設備等定期点検業務委託、補償費算定業務委託含む）





(5)受検体制について

工種、規模等に関わらず検査項目が非常に多いことから、限られた時間内で検査することが非常に難しくなっている。

従って、検査資料について適正に資料を作成するよう、監督職員や受注者に対しこれまで以上に周知させることが重要である。

2.　土木関係資料

下表は、土木工事の中間及び完成検査件数等の集計表である。

(1)土木工事の検査件数推移一覧表(過去7ヶ年度)

年　　度	契 約 件 数	中間検査件数	完成検査件数
平成30年度	1,405	81	1,319
平成31年度	1,702	65	1,473
令和2年度	1,697	128	1,701
令和3年度	1,417	174	1,592
令和4年度	1,575	190	1,432
令和5年度	1,298	198	1,448
令和6年度	1,253	187	1,226

(2)令和6年度　土木工事検査実施件数一覧表(土木事務所等別)

(金額単位;万円)

土木事務所等 課所名	中間検査	完　成　検　査								合計
		C<5,000					5,000≦C			
		C<500			500≦ C ＜5,000		5,000≦ C <1億	1億≦C		
		C＜100	100≦ C ＜500							
宇都宮	29	0	6	6	91	97	22	17	39	136
鹿　沼	7	0	5	5	69	74	13	4	17	91
日　光	24	0	4	4	120	124	23	3	26	150
真　岡	27	0	4	4	95	99	24	10	34	133
栃　木	36	0	7	7	151	158	25	19	44	202
矢　板	6	0	4	4	103	107	23	4	27	134
大田原	34	0	2	2	80	82	30	6	36	118
烏　山	9	0	1	1	65	66	9	7	16	82
安　足	15	0	3	3	113	116	29	17	46	162
下水道管理	0	0	0	0	16	16	0	1	1	17
本庁	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1
計	187	0	36	36	904	940	198	88	286	1,226

本庁は、河川課

下表は、業務委託の完成検査件数の集計表である。

(3)業務委託の検査件数推移一覧表(過去7ヶ年度)

(道路等維持管理業務委託、電気・機械設備等定期点検業務委託、補償費算定業務委託含む)

(金額単位;万円)

検査年度	執行区分	C＜100	本庁検査			合計	備考
			100≦C＜500	500≦C	100≦C小計		
平成 30 年度	土木委託	126	590	573 (19)	1,163	1,289	
平成 31 年度	土木委託	97	498	616 (40)	1,114	1,211	
令和 2 年度	土木委託	93	540	945 (31)	1,485	1,578	
令和 3 年度	土木委託	93	478	929 (27)	1,407	1,500	
令和 4 年度	土木委託	82	466	973 (36)	1,439	1,521	
令和 5 年度	土木委託	91	484	955 (29)	1,439	1,530	
令和 6 年度	土木委託	80	418	858 (24)	1,276	1,356	

注 ;( )は、うち契約額3,000万円以上

(4)令和6年度 業務委託検査実施件数一覧表(土木事務所等別)

(金額単位;万円)

土木事務所等課所名	C＜100	本庁検査			合計	備考
		100≦C＜500	500≦C	100≦C小計		
宇都宮	14	62	88 (6)	150	164	
鹿沼	13	45	66 (2)	111	124	
日光	4	36	94 (2)	130	134	
真岡	5	40	70 (2)	110	115	
栃木	11	54	138 (1)	192	203	
矢板	6	20	65 (1)	85	91	
大田原	12	49	116 (3)	165	177	
烏山	7	32	75 (1)	107	114	
安足	8	70	107 (3)	177	185	
下水道管理	0	7	23 (0)	30	30	
本庁	0	3	16 (3)	19	19	
計	80	418	858 (24)	1,276	1,356	

注 ;( )は、うち契約額3,000万円以上

本庁は、技術管理課・交通政策課・道路整備課・砂防水資源課・都市政策課・河川課・住宅課・道路保全課

3．建築関係資料

(1)建築工事の検査件数推移一覧表

年　　度	中間検査件数	完成検査件数
平成30年度	135	107
平成31年度	113	93
令和2年度	123	124
令和3年度	118	120
令和4年度	77	103
令和5年度	74	82
令和6年度	88	68

(2)令和6年度　建築工事検査実施件数一覧表

工　種	執行課所	中間検査件数	完成検査件数
建　築　工　事	建　築　課	34	22
	そ　の　他	1	0
	計	35	22
解　体　工　事	建　築　課	8	6
	そ　の　他	0	0
	計	8	6
塗　装　工　事	建　築　課	0	0
	そ　の　他	0	0
	計	0	0
電　気　工　事	建　築　課	15	10
	そ　の　他	1	4
	計	16	14
管　　工　　事	建　築　課	20	14
	そ　の　他	6	9
	計	26	23
機械器具設置工事	建　築　課	3	3
	そ　の　他	0	0
	計	3	3
合　　計	建　築　課	80	55
	そ　の　他	8	13
総　合　計		88(74)	68(82)

注：その他とは、建築課以外の執行課所からの検査依頼件数。　（ ）内数字はR5年度件数。
　件数は、500万円未満工事を含む全件数。

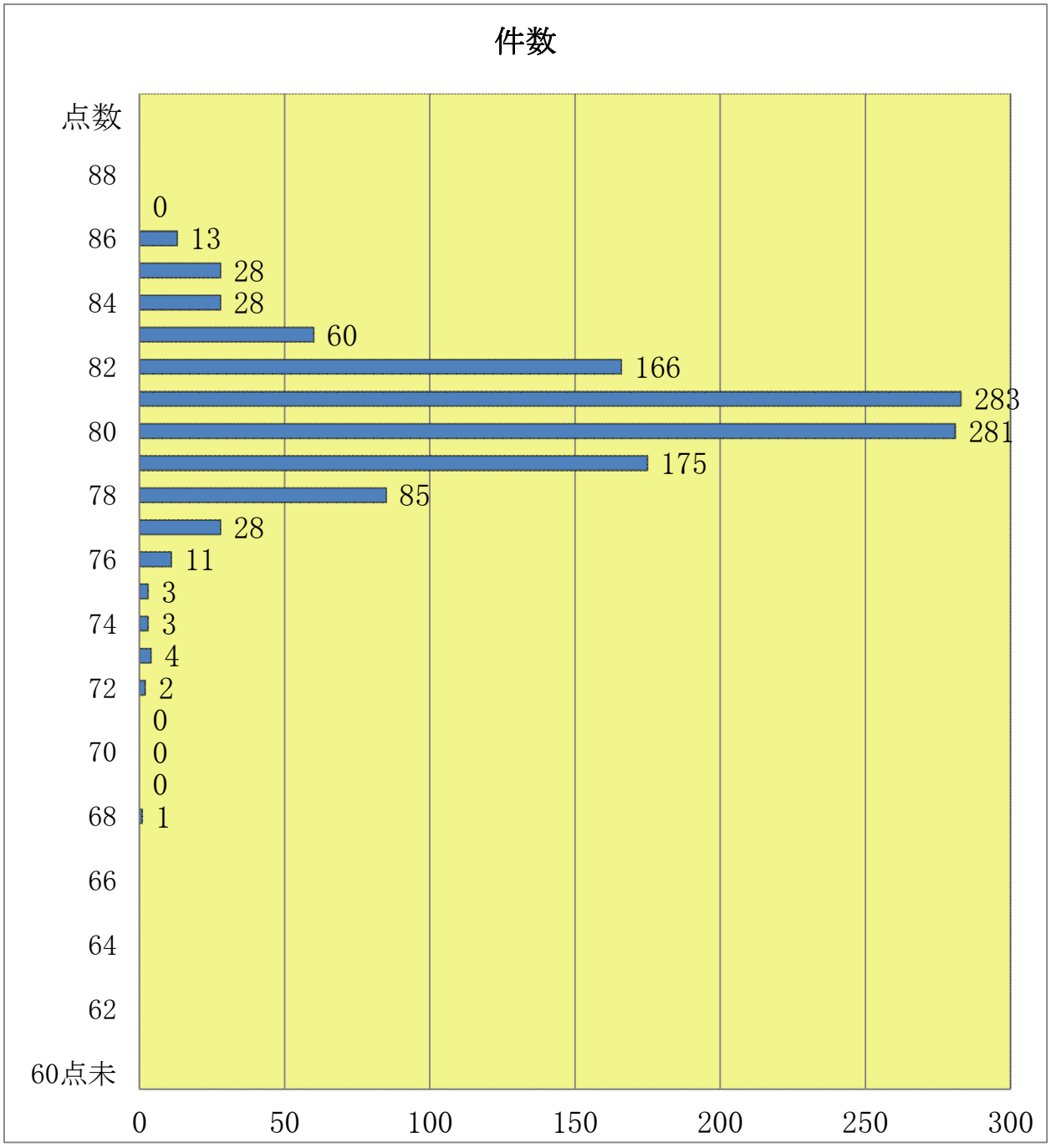
4. 成績評定結果資料

4－1－1. 工事成績評定結果（ 土木 ）

☆当初及び完成時の契約額500万円以上
☆令和6年度完成検査

・件　数　　1,171　件
・平均点　　80.5　点　（ 最高　86 点　最低　68 点　）

［前年度(R5)
1,403件
80.3点］



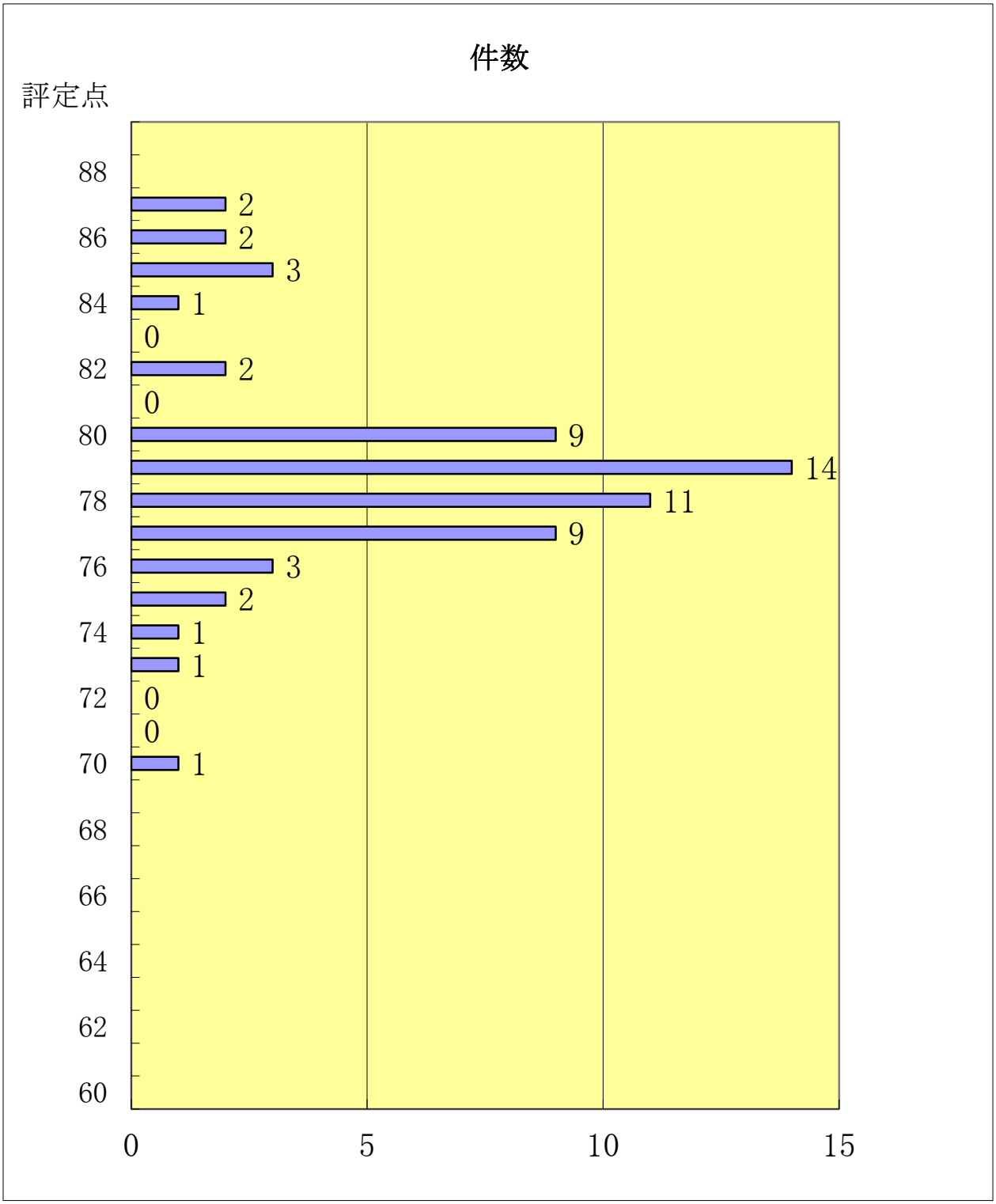
※　評定点数は、81点が283件で一番多く、平均点は80.5点であった。前年度に比べ0.2ポイント上昇した結果となった。

4－1－2. 工事成績評定結果 （ 建築 ）

☆当初及び完成時の契約額500万円以上
☆令和6年度完成検査

・件　数　　61 件
・平均点　　79.0 点　（ 最高 87 点　最低 70 点 ）

［前年度(R5)
80件
78.0点］



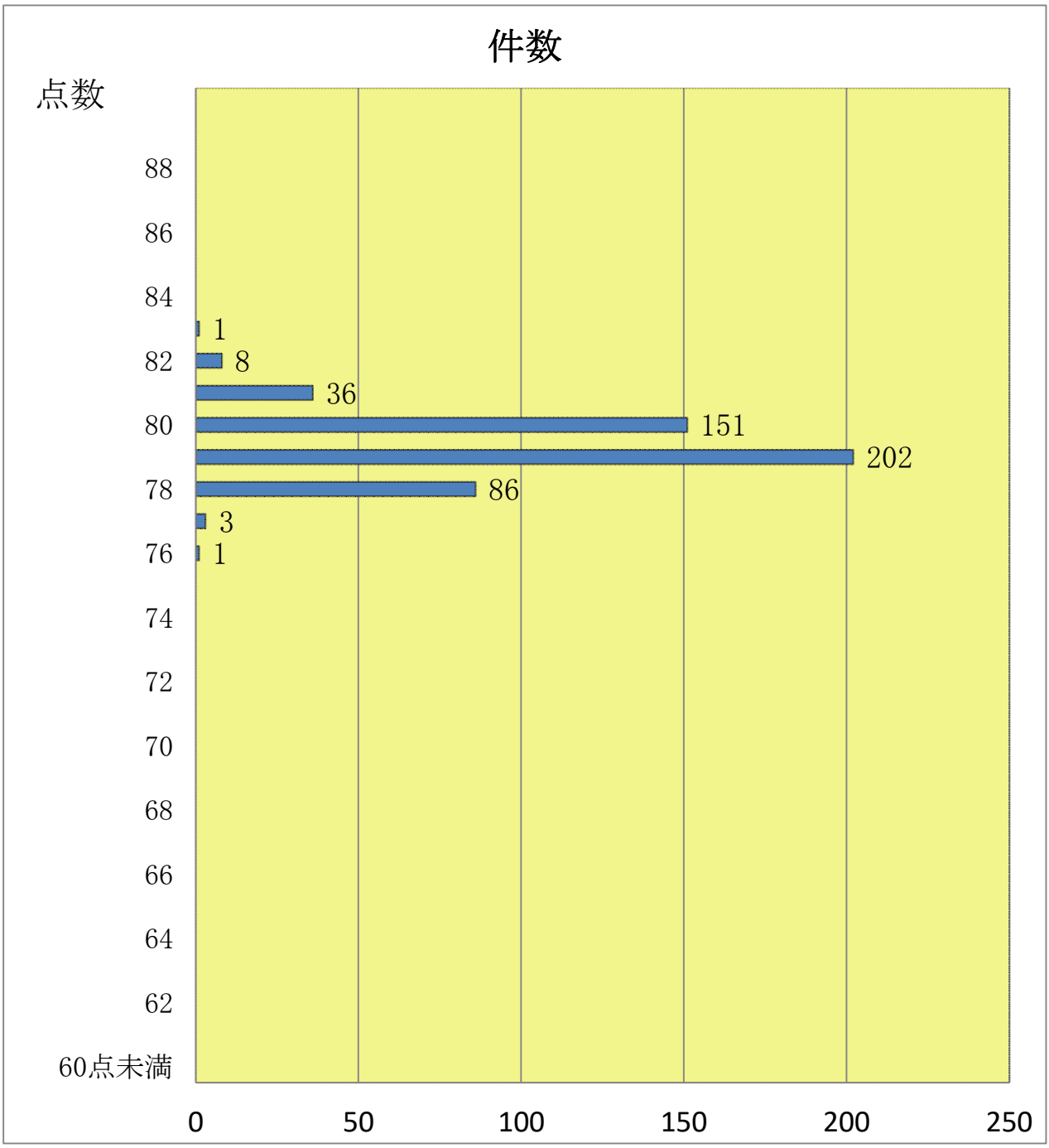
※　令和6年度建築工事における平均点は79.0点で、前年度に比べ1.0ポイント上昇した。

4－2－1. 業務委託評定結果（土木）

☆地質・土質調査、測量、用地測量、調査計画、設計の各業務
☆当初及び完成時の契約額500万円以上
☆令和6年度完了検査

・件　数　　488　件
・平均点　　79.3　点　（　最高　83 点　最低　76 点　）

［前年度(R5)
531 件
79.1点］



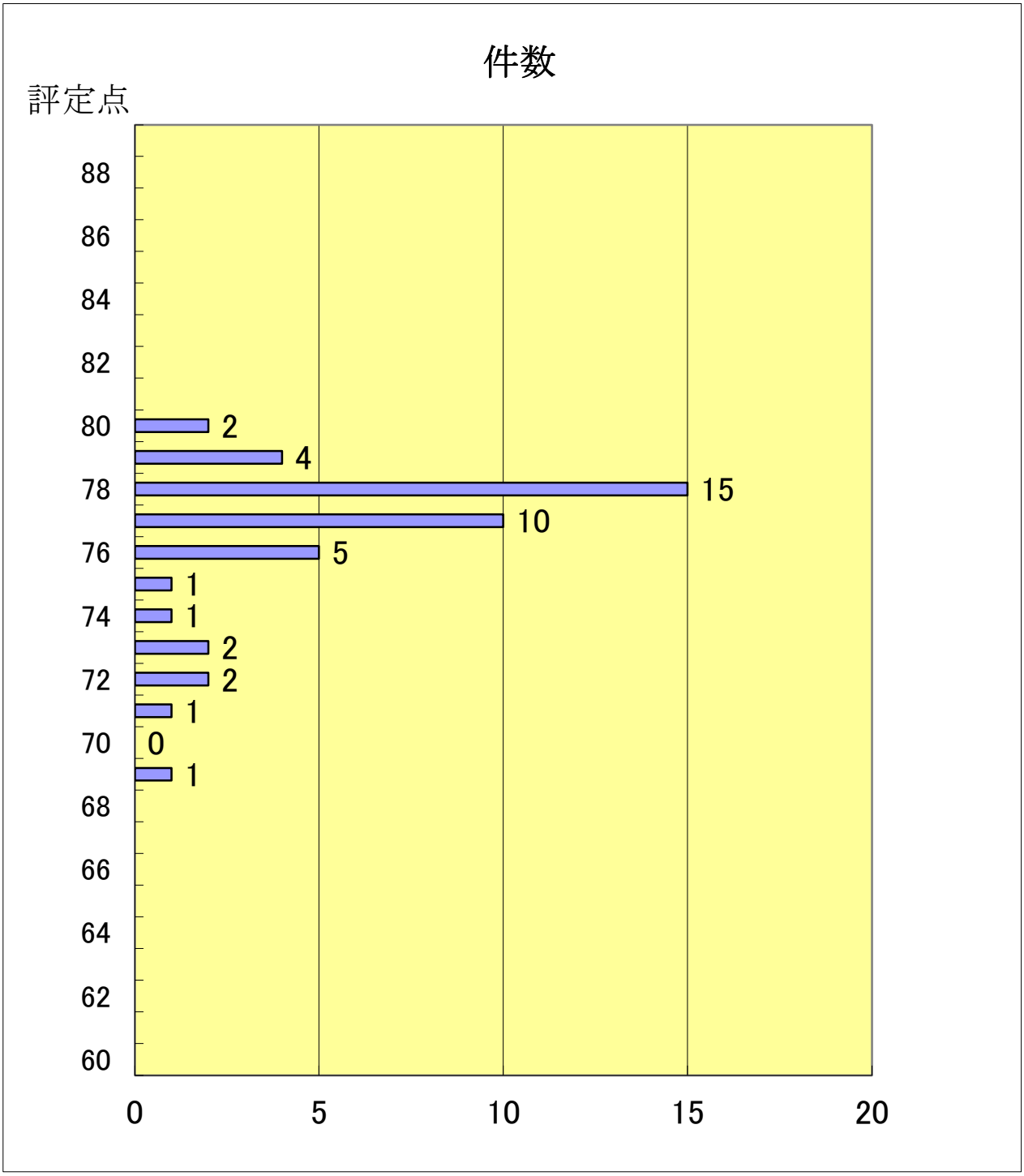
※　評定点数は、79点が202件で一番多く、平均点は79.3点であった。前年度に比べ0.2ポイント上昇した結果となった。

４－２－２. 業務委託評定結果 （ 建築 ）

☆設計業務
☆予定価格100万円以上
☆令和6年度完了検査

・件　数　　44 件
・平均点　　76.7 点　（ 最高 80 点　最低 69 点 ）

［前年度(R5)
43件
76.9点］



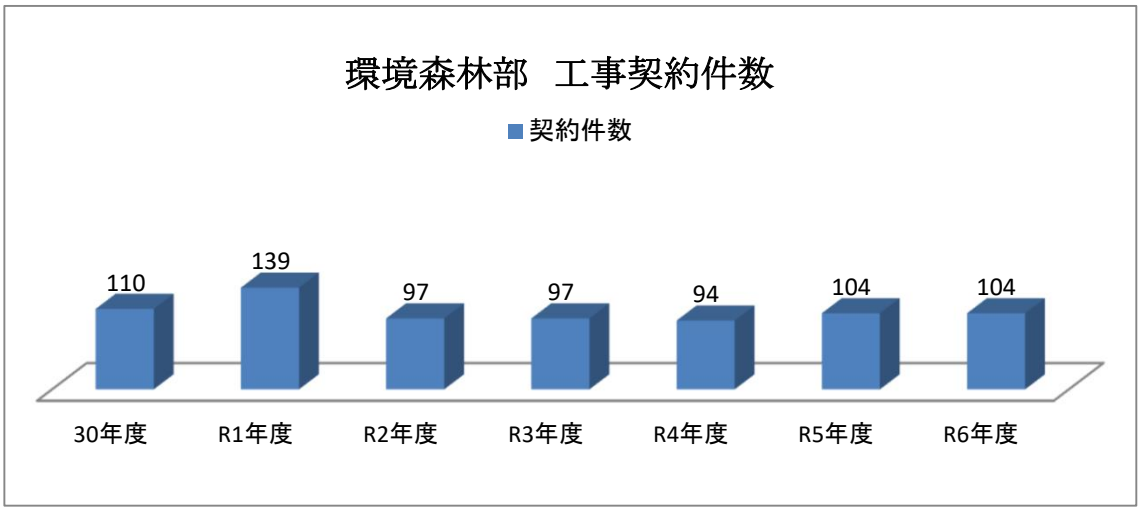
※ 令和6年度業務委託における平均点は76.7点で、前年度に比べ0.2ポイント低下した。

Ⅳ　環境森林部

1．検査結果について

(1) 工事契約件数について

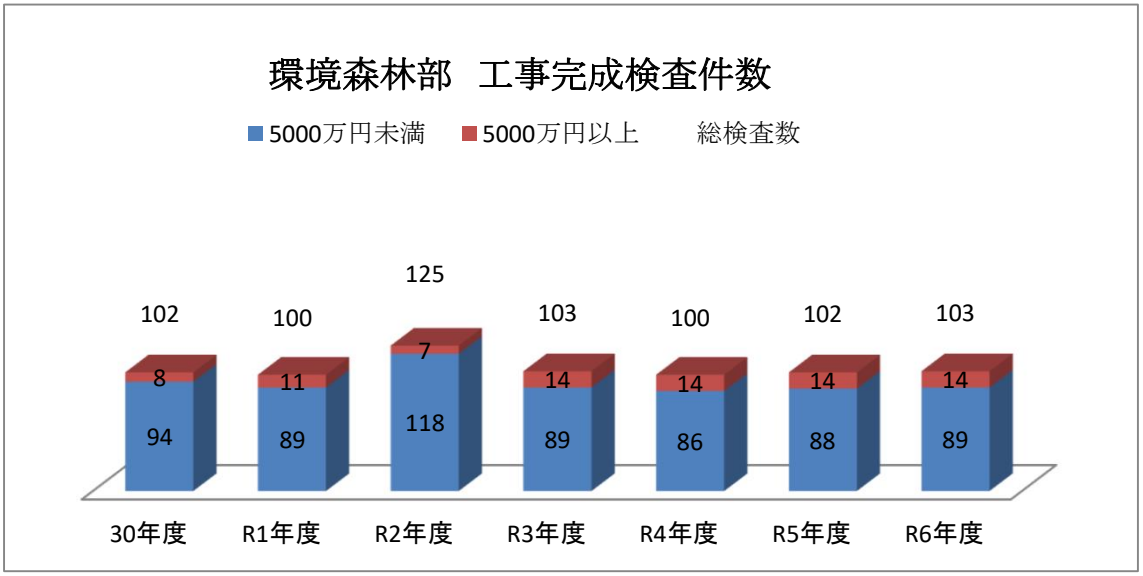
令和6年度の工事契約は104件で、前年度と同数であった。



(2) 工事完成検査について

①完成検査件数の推移

令和６年度の工事の完成検査は103件で、対前年比１件の増であった。



②完成検査状況

全般的には、工事実施状況や品質及び出来形ともに概ね良好であったが、一部の箇所において工事管理資料や工事記録写真に分かりにくい部分があった。

また、出来栄えについて、施工条件が厳しい地形の急峻な箇所等にて差が見られた。

③結果

完成検査の実施時期は、年末と年度末に集中する傾向があり、工事品質の確保や、特に施工条件が厳しい箇所の安全指導に努める必要がある。

(3) 中間検査について

①中間検査の対象

「環境森林部土木工事等共通仕様書」に基づき、当初契約金額５千万円以上及び総括監督員が必要と認めた工事を中間検査対象として実施している。

②中間検査状況

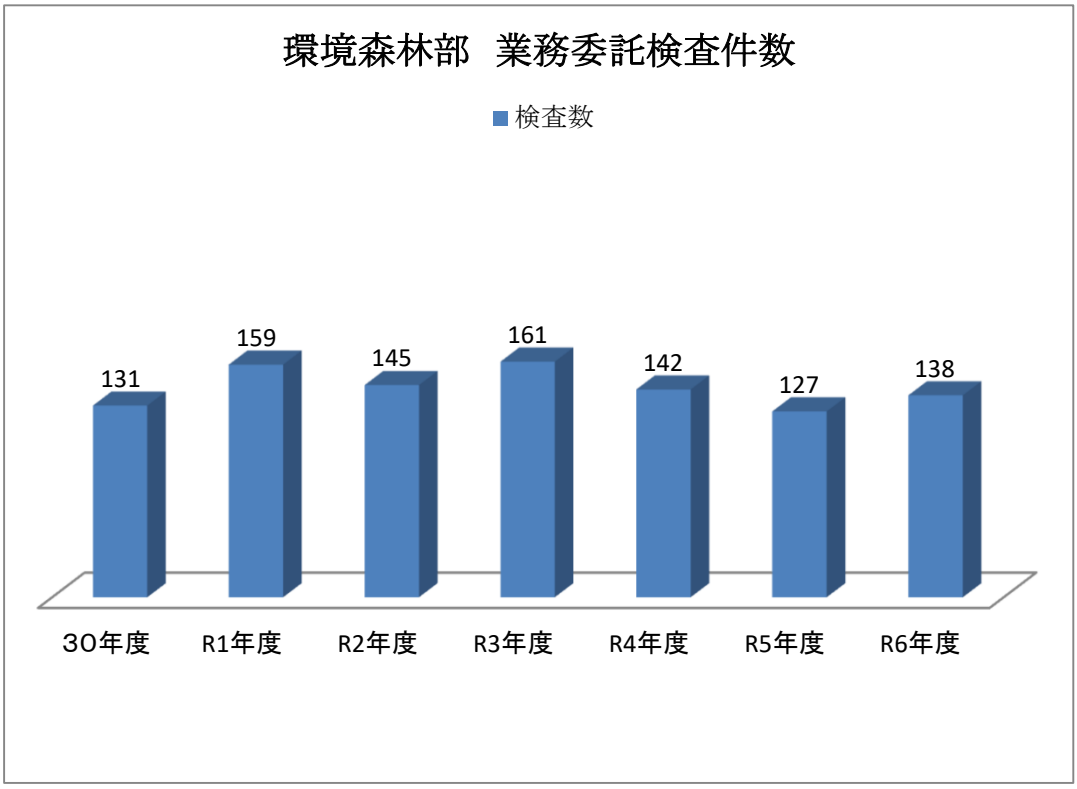
当初契約金額５千万円以上の11件及び総括監督員が必要と認めた３件、計14件の中間検査を実施した。（前年実施23件）

③結果

中間検査は、主に施工状況や品質等の確認及び完成検査で不明視となる部分等の出来形や出来ばえ等を検査するとともに、安全管理確認の観点からも重要であり、今後も適切に実施する。

(4) 業務委託検査について

①検査件数の推移



②結果

業務委託の検査は138件実施し、契約金額500万円以上の24件について成績評定を行った。（前年評定23件）

(5)　受検体制について

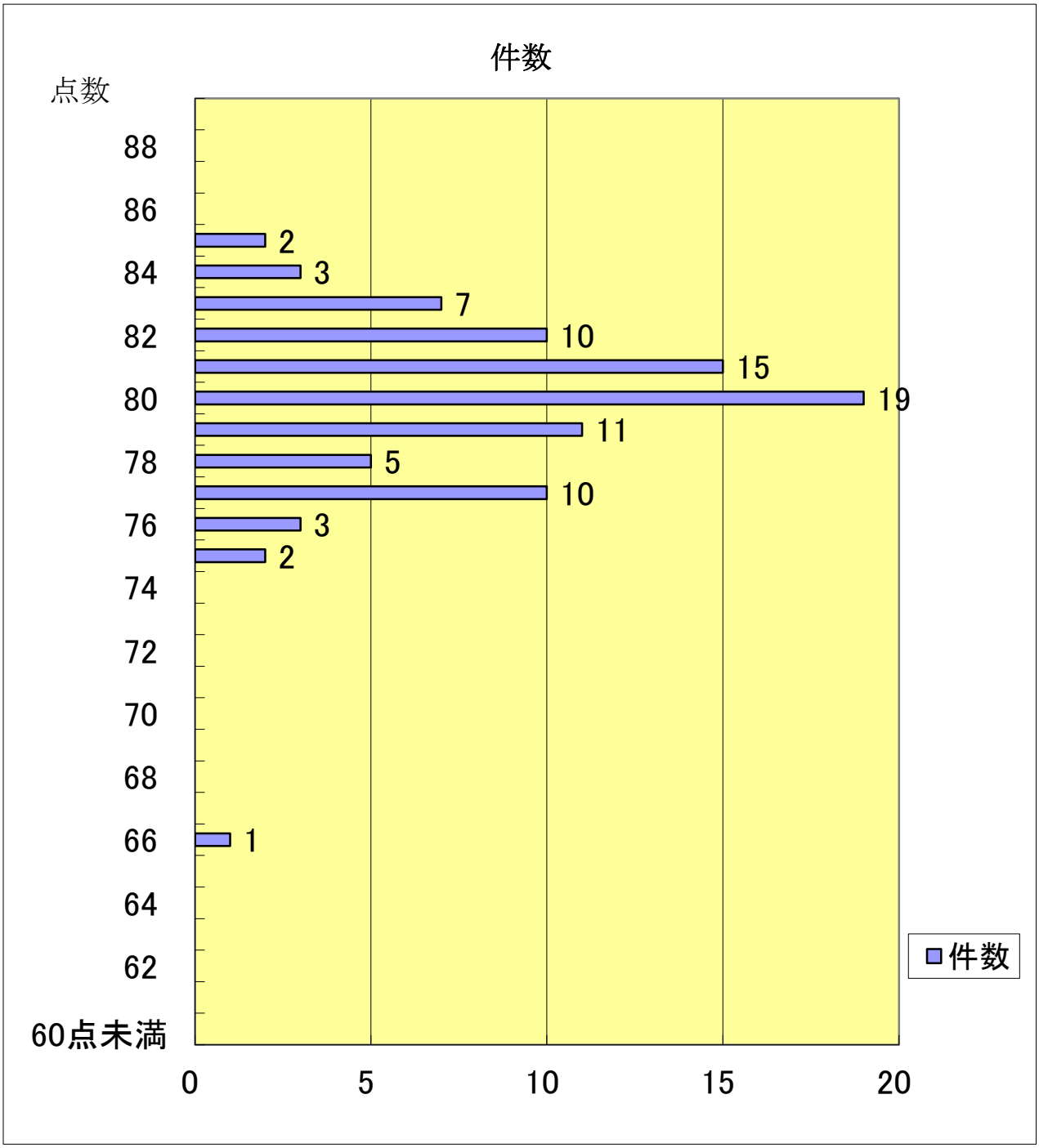
山間奥地などの遠隔地が多く、検査内容やチェック項目も多いことから、限られた時間での検査実施が難しくなっている。このため、監督職員による工事資料、成果品等の事前チェックや受注者に対する十分な指導を行うことが重要である。

2. 成績評定結果資料

2－1. 工事成績評定結果(本庁検査)

・件　数　　88　件
・平均点　　79.9　点　（　最高　85　点　最低　66　点　）

前年度(R5)
80件
79.6点



上図は、環境森林部が発注し、技術管理課検査班が令和６年度に実施した請負金額500万円以上の工事の評定結果である。

※ 評定点数は、80点が19件で最多、平均点数は79.9点であり、対前年比0.3ポイント増となった。

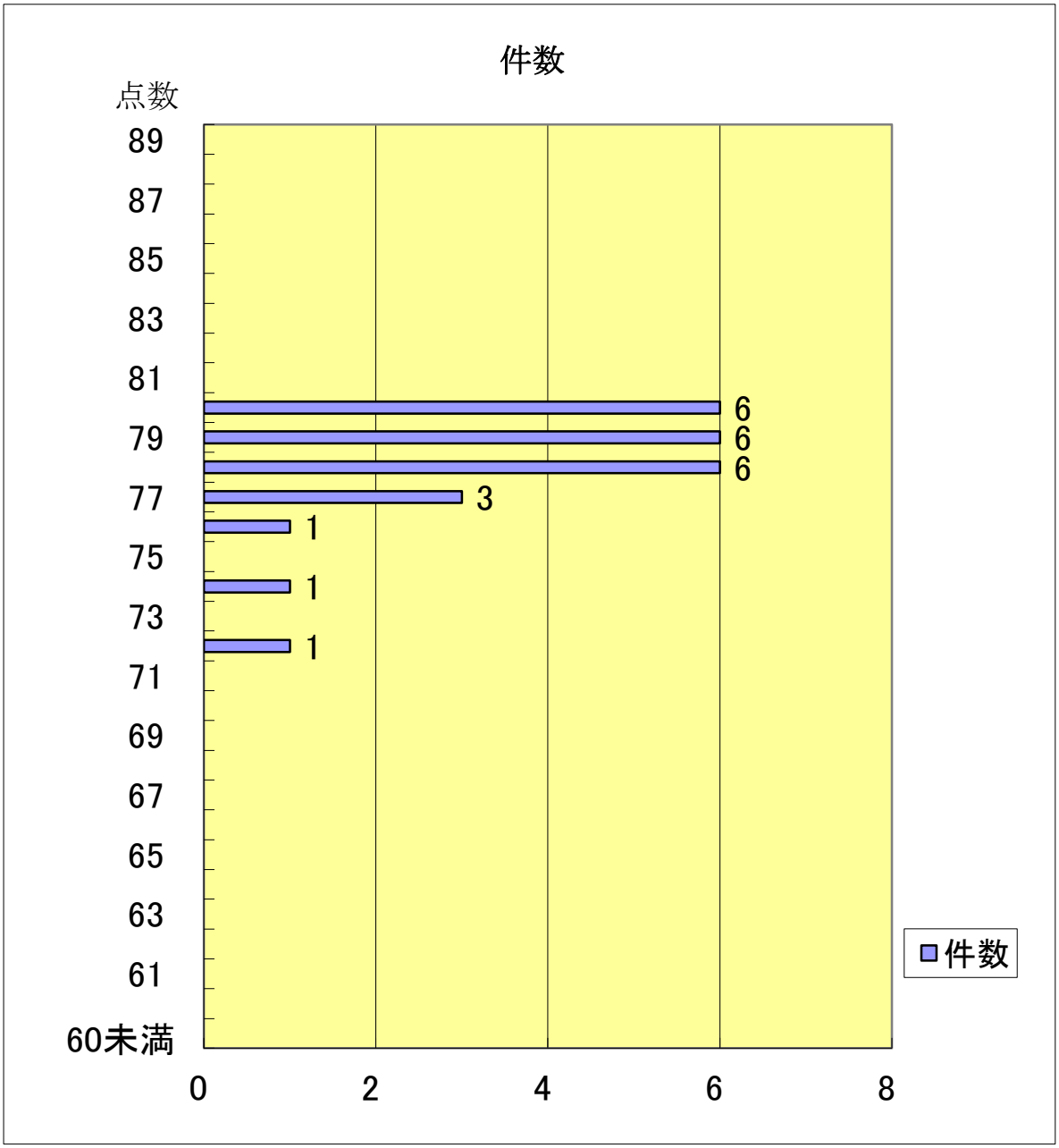
2－2 測量設計等業務委託成績評定結果(本庁検査)

栃木県環境森林部が発注する業務委託について、厳正かつ的確な成績評定を実施することにより、建設コンサルタント等並びに技術者の指導育成に資することを目的に、業務委託の成績評定を実施している。

○ 対象業務　☆測量、設計等の業務
☆当初及び完了時の契約金額500万円以上
☆令和６年度完了検査

・件　数　24 件
・平均点　78.1 点　（ 最高　80 点　最低　72 点 ）

［前年度(R5)
25件
77.8点］



上図は、環境森林部が発注し、技術管理課検査班が令和６年度に実施した契約金額500万円以上の測量設計等業務委託の評定結果である。

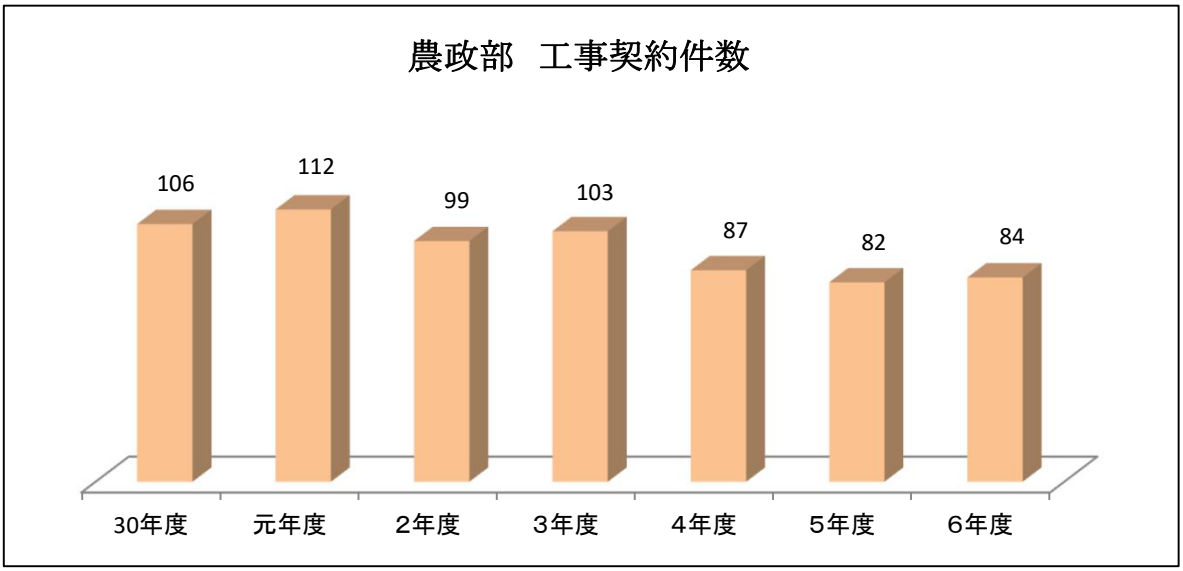
※ 評定点数は、78点、79点および80点が各6件で最多、平均点数は78.1点であり、対前年比0.3ポイント増となった

Ⅴ　農政部

1. 検査結果について

(1) 工事契約件数について

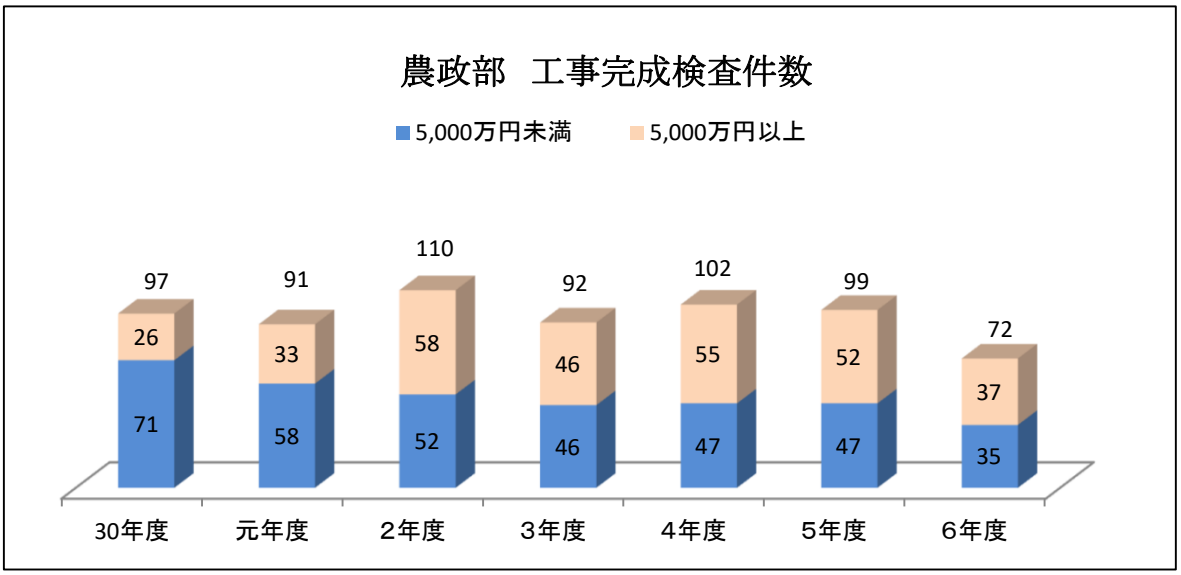
令和６年度の工事の契約総数は84件であり、令和５年度と比較して2件増加した。



(2) 工事完成検査について

①完成検査件数の推移

令和６年度の工事の完成検査総件数は72件となっており、令和５年度と比較すると27件減少した。



②完成検査状況

全般的には、現場施工状況、施工管理資料とも一定のレベルに達しているが、一部工事の資料の訂正等指導した箇所があった。

③結　果

会計年度や農作業時期の関係から、検査は３～６月に集中している。今後は週休２日制の推進による必要工期の確保はもとより、品質確保及び事故防止等について、発注者としてより一層の対応が必要である。

(3) 中間検査について

①中間検査の対象

中間検査は、原則として当初契約金額５千万円以上の工事、又は総括監督員が必要と認めた工事を対象とし、実施している。

②中間検査状況

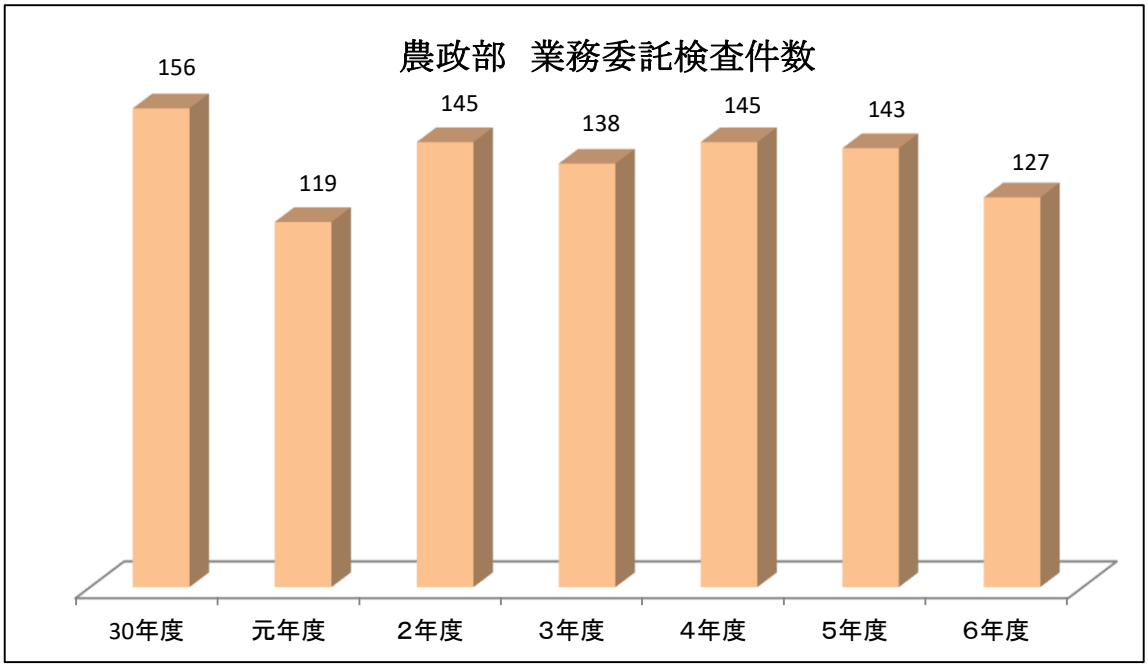
令和６年度中間検査の実施状況は、年度内完成工事だけでなく、次年度繰越工事を含め48件実施した。

③結　果

中間検査は、圃場整備工事、大規模構造物工事を中心に実施した。工事の進捗状況の把握、品質確保及び安全管理確認の観点からも重要であり、今後も積極的に中間検査を実施する。

(4) 業務委託検査について

①検査件数の推移



※ほ場整備関連の管理業務委託、換地関係指導事務委託等は含まない。

②結　果

令和６年度の業務委託の検査件数は127件となっている。

（５）受検体制について

検査に際して、主任監督員及び監督員は、現場状況及び工事資料、成果品等の事前チェックを行い、受注者に対して十分な指導を願いたい。

２．成績評定結果資料

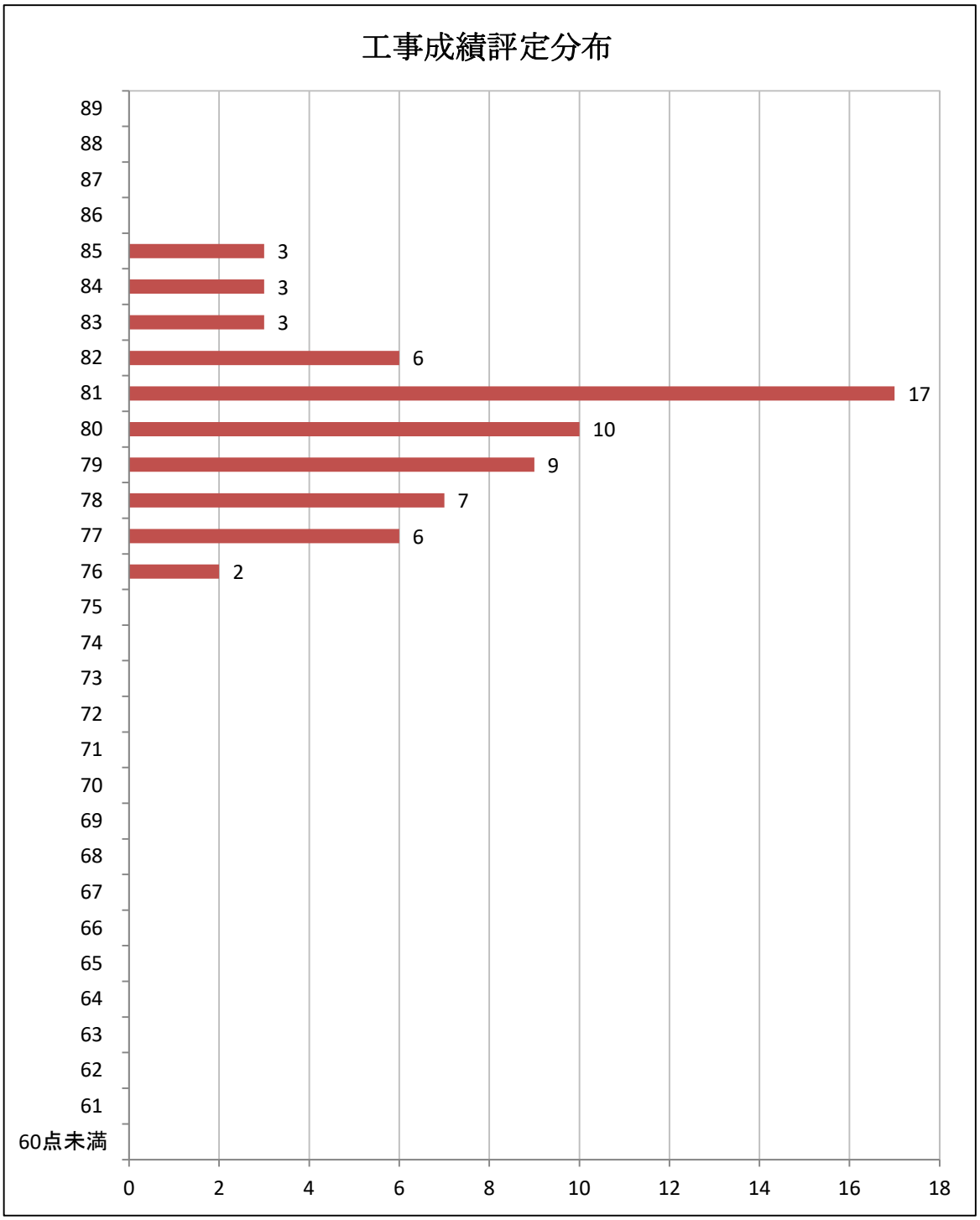
２－１．工事成績評定結果　（本庁検査班検査合計）

・件　数　　66　件

・平均点　　80.2　点　（最高　85 点　最低　76 点 ）

※参考（前年度）　件数　94件、平均点 79.6点

評定点数は、81点が17件で一番多い。平均点は80.2点で前年度より0.6ポイント上昇した。



上図は、農政部が発注し、技術管理課検査班が令和６年度に検査した評価対象金額500万円以上の工事の評定結果である。

２－２．測量設計等業務委託成績評定結果　（本庁検査班検査合計）

栃木県農政部が発注する業務委託について、厳正かつ的確な成績評定を実施することにより、建設コンサルタント等、並びに技術者の適正な選定及び指導育成に資することを目的に、業務委託の成績評定を実施している。

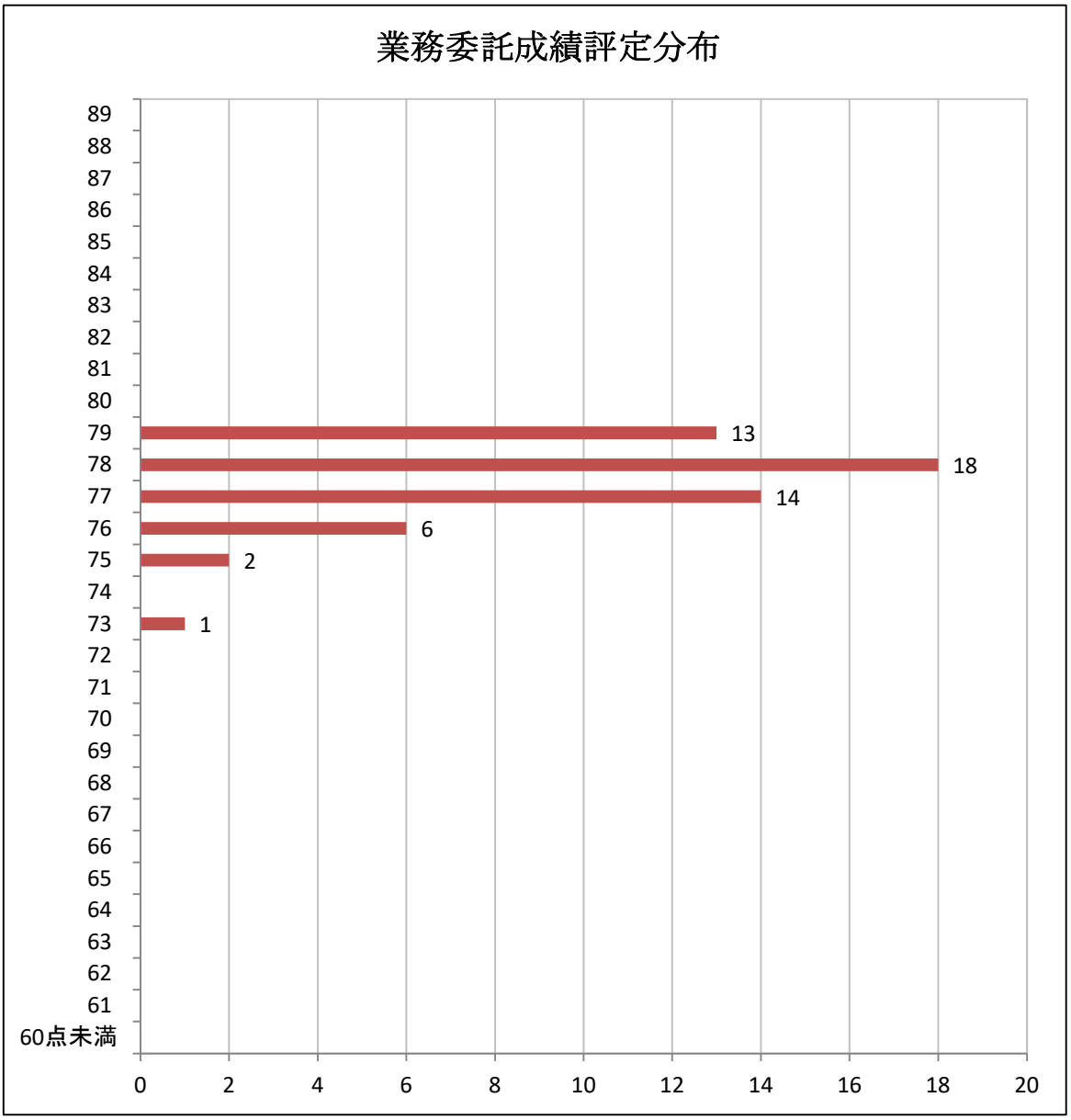
○対象業務　地質・土質調査、測量、用地測量、調査計画、設計の各業務
完了時の契約額500万円以上
令和５年度完了検査

・件　数　　54　件

・平均点　77.6　点　（最高　79 点　最低　73 点 ）

※参考（前年度）　件数　42件、平均点 77.5点

評定点数は、78点が18件で一番多い。平均点は77.6点で前年度より0.1ポイント上昇した。



上図は、農政部が発注し、技術管理課検査班が令和６年度に検査した評価対象金額500万円以上の業務委託の評定結果である。

Ⅵ.　まとめ

(1)工事成績評定について

工事成績評定は、「不良・不適格業者の排除、技術と経営に優れた企業が伸びることの出来る環境」の整備のため必要不可欠なデータであり、地域差や個人差のない「公平・公正」なものでなくてはならない。

総合評価落札方式による競争入札において、工事成績評定点は落札者決定の重要な要因であることから、成績評定の「公平化」「均質化」がさらに求められ適切に行われることが重要となっている。

工事検査は、公正さを保ちながら厳正に行うことは当然であるが、一方で情報公開への対応等から、説明責任(アカウンタビリティ)を確保することも極めて重要な課題となっており、さらに客観的で公正な評価を進めるとともに必要に応じて工事評価システムを見直していく。

(2)公共工事の品質確保について

平成17年4月に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が施行され、発注者の責務として、「工事の監督・検査及び施工状況の確認・評価」を適切に実施することが求められている。

品質管理基準に基づく厳正な監督・検査等により、公共工事の適正な品質を確保していく。